

大谷崩で植樹体験(一般)

6月11日、大谷崩で一般市民約80名の親子が参加し、植樹体験を行いました。「いのちの森づくり静岡少年団を支援する会」による主催で、年1回開催されています。
 今年は10回目を迎え、参加した親子により山腹斜面に自生種であるモミジ、ハンノキ、モミノキ等の苗を植樹しました。
 また、野生の小鹿があらわれ、参加者たちはかわいらしい珍客を写真に収めました。



大谷崩れ山腹工事概要の説明聞いてま〜す



「これでいいのかな？」紙製ポット組立に真剣！！



お父さん、お母さん、紙製ポット作りに奮闘中



「大きく育ててね！」木札に思いを書き込む子供たち



ここぞとばかりにガンバルお父さんたち！



一仕事を終え、参加者、スタッフで「はい、チーズ」

本年度も大谷崩れの法面对策を行っています

今年度も大谷崩れ崩壊箇所の拡大防止及び流出土砂の低減を目的として、特殊配合モルタル吹付＋ローネット設置による法面对策を行っています。大谷崩れ東南斜面頂上部での工事は、天候も変わりやすく、危険な箇所での作業環境で過酷な工事ですが、受注者とともに安全第一で工事を進めてまいります。工事の状況については次号以降でお知らせいたします。



大谷崩れ全景



施工箇所は標高約1700m

施工者:(株)白鳥建設
 工期:平成29年3月25日～平成29年9月29日

大谷崩で植樹体験(静岡市立高)

6月24日、大谷崩で静岡市立高等学校科学探究科1年の生徒41名が植樹体験を行いました。日本有数の急流河川である安倍川の概要、大谷崩れの歴史と砂防事業などを学習し、山腹斜面に自生種であるモミジ、ハンノキ、モミノキ等の苗を植樹しました。

この取り組みは、同校が文部科学省の「スーパー・サイエンス・ハイスクール(SSH)」に指定され、「安倍川フィールドワーク」として昨年に引き続き実施されました。生徒達はその後、大浜海岸や三保海岸を見学し、安倍川からの土砂の流れ、海岸侵食の現状と対策について学びました。



大谷崩れ山腹工事概要の説明に耳を傾ける生徒



紙製のポットを組立



木札に思いを書き込み



施工された山腹柵に苗木を植樹



大谷崩れをバックに集合写真



大谷山腹工に着手してから31年。この間、多くの方が植樹に訪れています

これからの季節、川での水遊びは格別ですが、リスクもあります。川で遊ぶ時は、必ず天気や川の情報を確認しましょう！



国土交通省 川の防災情報



静岡県 土木防災情報

編集後記

平成26年2月の降雪により落橋した「安倍の大滝」への吊り橋が静岡市の復旧により5月から通行可能となりました。梅ヶ島温泉から安倍の大滝まで片道40分程度のハイキング。マイナスイオンと森林浴が心地よい。訪れてみてはいかがでしょうか……



復旧した吊り橋(H29年5月時点)

皆様からの情報やご意見を募集します。



Tel: 054-269-2003、E-mail: http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/05_jigyou/02_office/toiawase.html